

新泉サナホーム便り

第13号
2021年1月20日

発行人
新泉サナホーム
結城拓也

年頭挨拶



新年明けましておめでとございます。入居者のご家族様、地域の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

社会福祉法人仁愛会 理事長 中村 稔

私事になりますが、2019年10月から2021年9月までの2年間理事長職を離れ、本来の業務である医師としての仕事に専念させていただきました。苦しくもこの期間は大変な時期でした。現在も続いています。新型コロナが世界中に蔓延し、パンデミックが巻き起こりました。幸いなことに仁愛会ではクラスターの発生は無く乗り越えてきています。ひとえに職員の頑張りによるものだと思います。2021年10月より理事長職に戻り、職員と協力しながらコロナに立ち向かっています。

仁愛会には

ご利用者を大切にします。

安心して健やかに、その人らしい日常生活が送れるよう支援します。



のとは分かりませんが、職員と協力しながら入居者様、そのご家族が安心して暮らせるよう努力してまいります。

終わりに皆様方のご健康とご多幸をご祈願申し上げ挨拶とさせていただきます。

新泉サナホーム 施設長 結城 拓也

新年あけましておめでとございます。

新型コロナウィルスの流行とともに、本来の施設運営方針とはかけ離れた運営が続き、ご利用者ご家族の皆様ならびに職員に対しても負担をかけております。

本年も、職員一丸となつて、何事に対しても寛容さを忘れず、律すべきところは自ら律し、誰もが安心して暮らせる施設、安心して働くことができる施設づくりに目指して参ります。

ご指導ご鞭撻のほど、よろしく申し上げます。



新泉サナホーム 施設長 齋藤 裕

新年明けましておめでとございます。

す！昨年は新型コロナに付きまとわれた一年でした。今年も少しでも明るい一年にしたいと思います。

心配事があっても、一人一人は、できることを着実に「問題が起きれば対処し、結果は受け入れる。」優しさとおたたくさを大切にすることをお祈り申し上げます。皆さんに幸多い一年となりますように。



和泉サナホーム 施設長 上原 篤史
新年あけまして、おめでとございます。

昨年中は、施設運営にご理解とご協力を頂きまして、誠にありがとうございました。本年も引き続き、ご支援頂きますようお願い申し上げます。

昨年後半からは、僅かな時間ではございますが面会も再開することが出来ました。感染対策を徹底し、安心安全な生活環境を維持して参ります。

新型コロナウィルス感染症の終息を願うとともに、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



面会について

先に郵送でご案内のとおり、年明けからの新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大の状況を踏まえ、1月11日より対面による面会を中止しております。直接お会いすることを楽しみにされていますが、ご家族の皆様には、大変心苦しく思っております。寒い時期ではございますが、窓越し面会またはオンラインによる面会にご協力をお願いいたします。

施設職員のPCR検査体制について

当施設職員につきましては、毎週1回東京都が実施するPCR検査を受検しております。引き続き、感染対策に留意しながら、業務を継続いたします。

新型コロナウイルスワクチン

3回目の接種について

すでにご案内のとおり、年明けに杉並区より3回目の接種に関する通知が届きました。急なことで、ご家族の皆様にはお手数をお掛けいたしますが、ご協力のほど、よろしく願います。現時点では、1月の最終週に接種する予定

です。

なお、今回の接種は、2回目接種後6か月経過した方より順次接種いたします。

行事等について

今回は、晩秋から年末にかけての行事をお伝えいたします。



不在者投票を行いました

去る、10月28日施設内にて衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査の不在者投票を実施しました。当施設では、杉並区選挙管理委員会より委嘱された外部立会人の立会の下、不在者投票を実施しております。投票された方は、様々な想いを込めて一票を投じていたようです。



クリスマス会

去る、12月18日、クリスマス会を行いました。各ユニットごとに嗜好を凝らして、入所者に楽しいひと時を過ごしていただきました。

介護職員を中心に、通常業務の合間を縫って準備

を進めてまいりました。来年は、入所者の皆様とご家族の皆様が一緒の時を過ごしていただきたい、そう願うばかりです。

餅つき大会

去る、12月28日、年末恒例の餅つき大会を行いました。よいしょ、よいしょ、の掛け声とともにお餅をつきました。その後、入所者にもお手伝いいただき、鏡餅づくりを行い、新年を迎える準備を整えました。



編集後記

今回は、晩秋から年末にかけての様子をお伝えしました。年明けからの新型コロナウイルスの急激な感染拡大に戸惑うばかりです。一日も早い終息を願っております。次号は、春先の発行を予定しております。